

環境シンポジウム 6月1日 土

参加無料 どなたでもご参加いただけます。

【会場】能登川コミュニティセンター

13:30～13:50 開会式

13:50～14:20 講演「森里川湖のつながりがはぐくむ
東近江市の多様で豊かな自然」

山崎 亨

びわ湖の森の生き物研究会副会長、アジア猛禽類ネットワーク会長、東近江市エコソリズ推進協議会会長
1954年滋賀県生まれ。鳥取大学獣医学科卒業後、信州大学教育学部生態学研究室で鳥類生態学を学ぶ。1977年から滋賀県職員として、畜産行政や家畜伝染病予防業務に携わりながら、ライフワークとして、イヌワシ・クマタカの生態研究および野生動物医学を通じた自然環境保全に取り組む。1995年からアジアの猛禽類の研究と保護の推進に着手し、1998年にアジアで初めての猛禽類シンポジウムを滋賀県で開催したのを機に、1999年にアジア猛禽類ネットワークの設立に尽力。2004年に滋賀県職員を辞め、アジアの自然環境保全を図るため、アジア各国での地域住民と一体となった猛禽類の研究と保護活動に傾注している。コーディネーター
中野 栄美子

自然が大好き、自然観察指導員、環境学習支援士、やまのこサポーター、鈴鹿10座エコツアーガイド、山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会理事。NPO法人カーボンシンク代表。現在、公益財団法人東近江三方よし基金事務局。

14:20～14:30 休憩

14:30～15:20 クロストーク「Feel The Nature 東近江の自然を体感する自然のチカラ×人のチカラ」

第1部 湖 エリア



小堀 孝行 株式会社たねや

東近江市生まれ。八日市南高校でカヌー部に入部、立命館大学でもカヌースプリントカナディアン選手として活躍。世界選手権・アジア競技大会・ワールドカップなどに出場し、現在はオリンピックを目指して内湖で練習を重ねる。広大なびわ湖から見える景色は何ものにも代え難く、心を癒し豊かにしてくれると話す。

小杉 花 八日市南高校3年生

八日市南高校カヌー部に所属。高校からはじめてカヌーで、通学の10kmも体力づくりを欠かさない。多くの日本代表選手を輩出しているカヌー部の一員として各種全国大会にも出場。毎日の練習で水面にいて、季節の移り変わりも肌で感じ自然の大切さを実感している。中でも冬の夕焼けが最高に綺麗という。

第2部 里 エリア

山田 竜一 DOYUJACKリーダー
(有限会社山田保険事務所 代表取締役社長)

東近江在住。滋賀県の中小企業家同友会でチームを結成。ピワイチや鈴鹿でのロードレースなどを楽しむ。自身は、春から秋にかけては毎朝、東近江市内を自転車で26キロをめぐり、そのコースを考える中で東近江市内の様子を観察し、四季折々の自然の良さを実感している。



佐々木 和之 滋賀プラス・サイクル推進協議会事務局

大学から滋賀県在住。専門は景観工学、小学5年から日本野鳥の会会員。自転車生活の推進に携わり、生活の様々な場面に「自転車の利用をプラスする」ことを目指した協議会事務局を担う。川での風景づくりもライフワークとし、東近江市小倉町の野菜花から望む愛知川河辺林の景色が好きと語る。

第3部 山 エリア



今井 康太郎 鈴鹿10座エコツアーガイドクラブ会長

東近江市出身、在住。県立八日市高校山岳部出身。1976年に「永山会」を創設。1977年に滋賀県山岳連盟に加入し、事務局局長、副理事長を歴任。1990年から「チャレンジ鈴鹿」を開催し、鈴鹿の山は、山登りだけでなく、登山道整備やツアーガイドなどにも取り組む。



山形 蓮

政所茶縁の会代表、政所茶生産振興会理事兼事務局 東近江市政所在住。2012年母校のフィールドワークの引率で政所茶に出会い、在校生とともに「政所茶レン茶」を立ち上げ、政所茶づくりを始める。2014年より政所町へ移住し、政所茶の復興に向けた活動を実施し、2017年地元生産者とともに政所茶生産振興会を立ち上げる。政所の土地に魅了される。

15:20～ 大会説明

前夜祭を開催します！

※事前申し込み不要

今年の前夜祭は、東近江市のふるまいと豪華ステージで盛り上げます。奮ってご参加ください。

【会場】能登川コミュニティセンター
【日時】6月1日 土 16:00～18:00

会場案内・アクセス

大会受付・開会式・環境シンポジウム・前夜祭

【会場】能登川コミュニティセンター

・名神高速道路・八日市ICより約25分
・JR「能登川駅」より徒歩約10分

大会スタート

【会場】能登川水車とカヌーランド

・名神高速道路・八日市ICより約30分
・JR「能登川駅」よりタクシーで約10分

閉会式・抽選会

【会場】道の駅 奥永源寺溪流の里

・名神高速道路・八日市ICから国道421号線を
いなべ市方面へ約30分【お問い合わせ】
SEA TO SUMMIT® 連絡協議会 事務局（株式会社モンベル 広報部内）
TEL 06-7670-3186 FAX 06-6531-5536 〒550-0013 大阪市西区新町2-2-2オフィシャルウェブサイト
<https://www.seatosummit.jp/>

2019



SEA TO SUMMIT®

環境スポーツイベント シートゥー サミット®

びわ湖から鈴鹿山脈まで東近江を遊びつくす

琵琶湖国定公園と鈴鹿国定公園を結ぶロングコースが特徴。今年のフィニッシュは鈴鹿10座の一つ日本コバ。
びわ湖から鈴鹿山脈までを結ぶロングコースも昨年とは一味違います。LAKE BIWA HIGASHIOMI
6/1・2 滋賀県 びわ湖 東近江
SAT SUN
滋賀県東近江市（モンベルフレンドタウン東近江市）

大会プログラム



KAYAK 8 km

BIKE 38 km

HIKE 4 km

主催／東近江市 SEA TO SUMMIT® 実行委員会 共催／東近江市
後援／環境省近畿地方環境事務所、観光庁、スポーツ庁、滋賀県、八日市商工会議所、東近江市商工会、
ジャパンエコトラック推進協議会オフィシャルウェブサイト
<https://www.seatosummit.jp/>
※「SEA TO SUMMIT / シートゥーサミット」は株式会社モンベルの登録商標です。JAPAN
ECO
TRACK

スポーツ庁

観光庁
Japan Tourism Agency国立公園
オフィシャルパートナーGOOD
LIFE AWARDCOOL
CHOICE

びわ湖 東近江 SEA TO SUMMIT®2019 大会に寄せて



びわ湖 東近江
SEA TO SUMMIT®
大会長
東近江市長
小椋 正清

東近江市で3回目の開催となる「びわ湖 東近江 SEA TO SUMMIT®(シートゥーサミット)2019」に全国各地から多数の皆様にお越しいただき、心から歓迎申し上げます。

会場である東近江市は、西に琵琶湖、東に鈴鹿山脈を有し、森里川湖のつながる広大で自然豊かな地域です。鈴鹿山脈を源とする水資源は、近畿地方最大の農地を潤し、日本遺産にも認定された水郷集落である伊庭の水辺景観や愛知川の伏流水を暮らしに利用した五個荘金堂の町並、愛知川源流の奥永源寺の山村風景などにもみられるようこの地の人々の暮らしの中から育んできました。

また、琵琶湖固有種のホンモロコやビワマス、鈴鹿山脈のイヌワシやクマタカなどに象徴される多様な生態系が形成されているのも鈴鹿山脈の豊かな森林によるものです。

東近江市では、地域の歴史や文化・産業を育む源泉である鈴鹿山脈のすばらしさを広く周知し、供給される豊かな森林資源や水資源を次世代に継承するため「鈴鹿10座」を選定しています。今回のゴールはその鈴鹿10座の一つである日本コバです。日本コバは、美しい森や沢、岩場、洞窟などがあり、山頂付近のなだらかな高原に深い森や小川、湿地などが広がる風景が特徴です。

参加されるみなさんには、琵琶湖から鈴鹿山脈までの多様な自然環境を満喫していただき、そして全員がゴールされることを御祈念申し上げまして挨拶いたします。



東近江市
SEA TO SUMMIT®
実行委員長
藤井 悠矢

『BACK to BASIC』

琵琶湖から鈴鹿山脈までを繋ぎ、ボーダレスなメンバーと私たちの住む東近江市をSEA TO SUMMIT®を通じて皆さんに知ってもらいたいとスタートした2017年。鈴鹿10座の活用とアウトドア観光の観点から大会ルートとゴール地点の変更を行ない、新たな魅力とその地域の皆さんが持つ個性を選手の皆様だけでなく実行委員のメンバーも再確認することができた2018年。

そして3回目の2019年、コンセプトは『BACK to BASIC』東近江市の自然環境と生活文化を継承し発信していくにはどうしたらいいのか。『市民が誇れる地域』になるための環境整備と認識を目に見える形で伝えていくことを目標にしながら、これまで東近江を盛り上げてきてくれた地域の方々と、令和を担う次世代のワカモノが湖・里・山を通じて『自慢できる地元・東近江市』をアウトドアの観点からアプローチして行きます。

私たち実行委員会メンバーはもちろん、行政、民間企業、大学、高校、そして地域にお住いの皆様、それぞれのお力をお借りして、今大会も開催することができると、そう思っております。

そして大会に参加される皆さんには、東近江市の自然や文化、生活、そこに暮らす人々の姿が身近に見えるそんな大会を目指して参ります。2日間お楽しみ下さい。皆様とお会いできることを楽しみにしております!!



SEA TO SUMMIT®
連絡協議会理事長
モンベルグループ代表

辰野 勇

この度、東近江市をはじめとした関係各位の協力のもとに、第3回目の「びわ湖 東近江 SEA TO SUMMIT®」が開催される運びとなりました。

琵琶湖国定公園と鈴鹿国定公園を舞台に、全国からアウトドアスポーツを愛好する人々が集います。それぞれのペースで、タイムを競うことなく、かけがえない大自然の循環を肌で感じながら、カヤック・自転車・登山の人力のみの手段で、琵琶湖や鈴鹿山脈の魅力を味わう大会が繰り広げられます。

自然の循環を感じる環境スポーツイベントとして始まった「SEA TO SUMMIT®」。そのコンセプトのもとに、365日いつでも快適な旅やアクティビティを楽しめる新しいエコツーリズムの形として「Japan Eco Track(ジャパン エコトラック)」を全国各地に向けて提案しております。「SEA TO SUMMIT®」にご参加いただいた後にも、ぜひまた東近江市を訪れていただき、四季折々の魅力を感じていただきたいと思います。

海・里・山 ―。

「SEA TO SUMMIT®」では、人力だけで海から頂上を目指し、大自然を全身で感じながら汗をかき、人と自然の関わり方の在るべき姿を改めて考える、そんな時間を皆さんと共有したいと思います。

びわ湖 東近江 SEA TO SUMMIT® 2019

開催要綱

主催	東近江市 SEA TO SUMMIT® 実行委員会
共催	東近江市
後援	環境省近畿地方環境事務所、観光庁、スポーツ庁、滋賀県、八日市商工会議所、東近江市商工会、ジャパンエコトラック推進協議会
特別協賛	株式会社モンベル、マツダ株式会社
協賛	教えて!「かくれ脱水」委員会、日本コア株式会社、大山ハム株式会社、ナイトアイズ、日本航空株式会社、Be Protected Everyday、株式会社ビクセン、プロトレック、株式会社むそう商事、アリスト販売株式会社、株式会社ヤマップ、アノロ、アドベンチャーテクノロジー、バイオライト、フォジジルス、ガーバー、グレイル、ヘリノックス、ヒューマンギア、ジェットボイル、クピルカ、NRS、パーセプション、ラフウェア、トランゴ、ライオット 他

大会期日 2019年6月1日(土) - 6月2日(日)

会場	6月1日 能登川コミュニティセンター(大会受付・開会式・環境シンポジウム・前夜祭／雨天決行) 6月2日 能登川水車とカヌーランド(スタート) 【湖のステージ(カヤック)】能登川水車とカヌーランド→琵琶湖→能登川水車とカヌーランド(約8km) 【里のステージ(自転車)】能登川水車とカヌーランド→妹南交差点→道の駅 奥永源寺溪流の里(約38km) 【山のステージ(ハイク)】道の駅 奥永源寺溪流の里→日本コバ頂上(約4km) 道の駅 奥永源寺溪流の里(閉会式)
----	--

定員 先着300名(募集人数に達し次第、受付を終了します)

参加費 【シングルの部】 税抜き料金¥10,500(税込¥11,340) 【チームの部】 税抜き料金¥10,500(税込¥11,340)×人数
【学生割引(大学生まで)】 税抜き料金¥5,500(税込¥5,940)
※参加費には[環境保全協力金¥500]を含む

参加資格 ●シングルの部:高校生以上 チームの部:中学生以上
●健康な方で、参加者全員分のカヤック装備(パドル・ライフジャケット・フラッグの装着を含む／SUPの場合リーシュコード必須)、自転車装備(ヘルメットを含む)、水分補給のための給水用装備(ハイドレーション・システムなど)を用意できる方
●大会事務局より大会参加承認を受けた方
※病弱、心臓に障害のある方は参加できません。 ※高校生以下の参加には保護者の同意が必要です。 ※年齢は大会当日を基準とします。

日程	6月1日(土)	6月2日(日)
【会場】能登川コミュニティセンター	10:00～12:30 カヤック・自転車搬入 (能登川水車とカヌーランド) 10:00～13:30 大会受付 13:30～13:50 開会式 13:50～15:20 環境シンポジウム(→詳細P.8) 15:20～15:50 大会説明 16:00～18:00 カヤック・自転車搬入	【会場】能登川水車とカヌーランド 4:30～5:50 カヤック・自転車搬入 5:50～6:00 スタート式 6:00～ 大会スタート
【会場】能登川コミュニティセンター	16:00～18:00 前夜祭	【会場】道の駅 奥永源寺溪流の里 15:30～ 閉会式・抽選会 参加者集合写真撮影 16:30 大会終了

※天候およびコースの状況により変更になる場合があります。

制限時間 ●11:30までにハイクスタート(道の駅 奥永源寺溪流の里: 約46km地点)
●14:00までに日本コバ頂上に到着すること
※詳しくは次ページの地図をご覧ください。

6月2日  大会コースとチェックポイントのご案内です。応援ポイントなどもご紹介しておりますので、ぜひ参考になさってください。

びわ湖 東近江大会のコースマップ (協力: 株式会社ヤマップ)

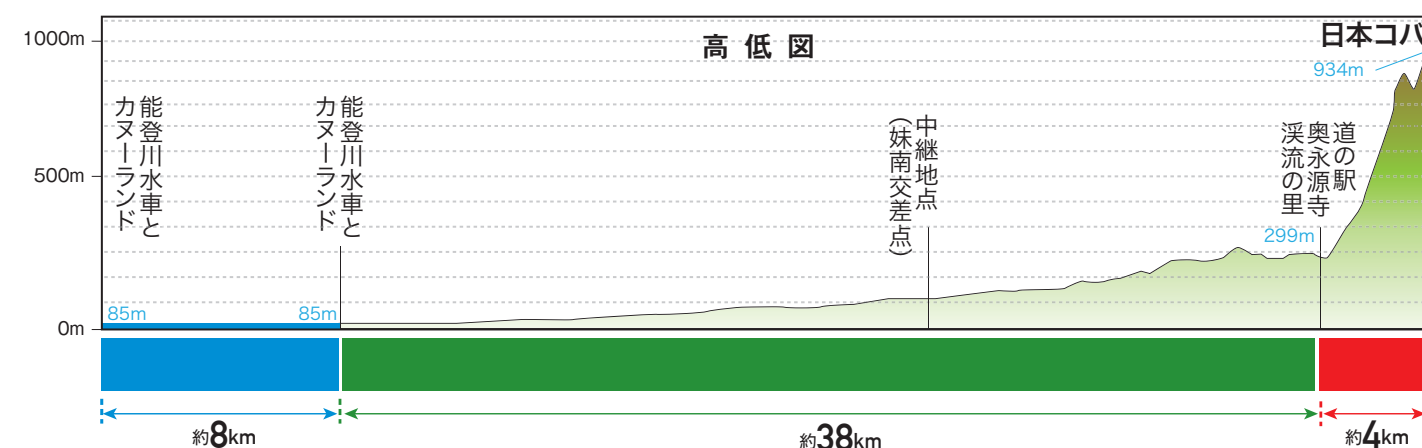
コースや主要ポイントを網羅した大会専用地図が、YAMAPアプリにて無料でご利用いただけます。

※事前にYAMAPアプリをダウンロードし、会員登録のうえ、ご利用ください。

<https://vamap.co.jp/map/7909>



※天候およびコースの状況により変更になる場合があります



35°11'07"N 136°08'16"E

能登川水車と
カヌーランド

【応援目安時間】 6:00-9:00



チェック
ポイント



エイド
ステーション



応援ポイント



トイレ



駐車場



自転車メンバー
交代可能地点

【応援サポーターの方へ】

路上駐車、自動車による自転車との併走は他の方のご迷惑となりますので、ご遠慮ください。各応援ポイントの最寄りの駐車場 **P** をご利用ください。

35°06'11"N 136°15'04"E

妹南交差点



【応援目安時間】 8:00-10:00

35°06'19"N 136°22'20"E

道の駅
奥永源寺溪流の里



【応援目安時間】 9:00-11:30

35°06'08"N 136°20'32"E

日本コバ 頂上
(大会フィニッシュ地点)



【応援目安時間】10:30-14:00

mont·bell

株式会社モンベル
https://www.montbell.jp/

総合アウトドア用品メーカー。「FUNCTION IS BEAUTY (機能美)」
「LIGHT & FAST®」をコンセプトに、高機能な登山用品、アウトドア用品
の開発・製造・卸・販売を行っています。



マツダ株式会社
https://www.mazda.co.jp/

私たちマツダは、人々に人生の輝きを提供し、地域・社会との共存に挑戦し
続けます。技術開発長期ビジョン「サステナブル“Zoom-Zoom”宣言
2030」に基づき、「地球」「社会」「人」とクルマが共存する世界の実現を目指
し、「走る歓び」にあふれたカーライフを通じて、お客様の人生をより豊かにし、
お客さまとの間に特別な絆を持ったブランドになることを目指していきます。

教えて!
「かくれ脱水」委員会

教えて!「かくれ脱水」委員会
http://www.kakuredassui.jp/

深刻な脱水状態の一手前を「かくれ脱水」と名づけ、脱
水に対する正しい知識と予防方法・対処方法を伝えています。
私たちは、深刻な脱水状態を防ぐことで熱中症で搬
送される人をゼロにしたい。



日本ゴア株式会社
http://www.gore-tex.jp/

耐久防水性、防風性、透湿性を併せ持つ機能性素材
GORE-TEXファブリックスの製造メーカー。GORE-TEXブ
ロダクトは、気候の変化から体を守り、アウトドアでの活動を
より快適なものにします。



大山ハム株式会社
http://www.daisenham.co.jp/

2013年ドイツ農業協会 (DLG) 主催国際品質競技会金賞
受賞の「カントリーロースト (スライス)」を中心に、丹念に造り
上げたハム・ソーセージ・ベーコンを食卓にお届けします。



ヒューマンギア
http://www.humangear.com/

「ゴーバイト」や「ゴートゥープ」など、アウトドアやトラベル・
シーンを快適にする、シリコン製容器や、丈夫で軽量なカ
トラリー・シリーズなどユニークなアイテムを取りそろえた、ア
メリカ発のブランドです。



エヌアールエス
https://www.canoeing.jp/

1972年に創業。「究極の実用性」をコンセプトに、快適性
や利便性を考えた製品を製造。インフレーターSUPやバ
ドルなどを展開しています。



トランゴ
http://www.trango.co.kr/

ユニークかつ高品質の商品が世界中のクライマーから注
目を集めるクライミングブランド。カラビナなどのクライミング
用品を取り扱っています。



ジェットボイル
https://www.jetboil.jp/

アメリカで数多くの賞をおさめた、アウトドア調理器具ブ
ランド「ジェットボイル」。保温クッカーと熱効率の高いストー
ブがセットになった、簡単便利・軽量・コンパクトな製品を生
み出しています。



パーセプション
https://www.canoeing.jp/

1976年、アメリカを代表するカヤックデザイナー、ビル・マス
ターによって創業。「パフォーマンス」&「コンフォート」というコ
ンセプトのもと、より楽しむことを前提に冒険心を随所に盛り
込んだカヤッキング、それがパーセプションのスタイルです。



クピルカ
https://kupilka.fi/ja/

フィンランド生まれのクピルカは「小さなカップ」という意味を
持ち、自然と手になじむようにデザインされています。耐久・
耐熱性に優れ、お手入れも簡単。アウトドアに最適です。



ラフウェア
https://www.ruffwear.jp/

人と犬と一緒にアウトドアを楽しむための犬用アウトドア・ブ
ランド。品質、機能性、そして安全性を備えた商品は愛大家
にとどまらず、災害救助犬の現場からも高い評価を受けて
います。



ナイトアイズ
http://cmoon.biz/

ロッキーマウンテンの麓、コロラド州ボルダーで1989年
の創業以来、日常生活からアウトドアまで、よりシンプルに、よ
り安全に、そして少しでも皆が楽しくなるような商品を開発し
続けています。



JAPAN AIRLINES
日本航空株式会社
https://www.jal.com/ja/

「世界で一番お客様に選ばれ、愛される航空会社」を目指
し、一人一人のお客様へのおもてなしの心を大切に、世界
に先駆けた挑戦を重ね、常に新しい価値を創造しています。



Be Protected Everyday
http://cmoon.biz/

“香りを楽しむ虫よけ” 天然由来の虫よけに消臭効果とフ
レグランスをプラス。日本製でディート不使用。子供から大人
まで安心してお使いいただけるオールインワンスプレーです。



株式会社ビクセン
http://www.vixen.co.jp/

ビクセンは60年以上にわたって、双眼鏡、天体望遠鏡、
ルーペなどを製造している光学機器のメーカーです。レンズ
越しに広がる美しい星空や、新しい眺めを、より多くの人に
楽しんでいただきたいと願っています。



プロトレック
http://protrek.jp/

いかなる状況下でも、すばやく自然を感知する本格アウト
ドアとしてのユーザビリティを追求し、常に進化を続ける
時計ブランドです。さまざまなフィールドへの挑戦をプロト
レックがサポートします。



株式会社むそう商事
http://www.muso-intl.co.jp/taste_of_nature.php
オーガニック食品・原材料の輸入卸売業。サクッと歯ごたえ
の良い玄米パフとナッツにドライフルーツの酸味がクセに
なる美味しさ「オーガニックフルーツ&ナッツバー」を提供し
ています。



アゾロ
https://www.asolo.jp.net/

革新的で高機能なマウンテンアライジング・シューズを世界に
先駆けて生み出し、世界のアウトドア用フットウェアをリード
し続けているイタリアのフットウェアブランド。



株式会社ヤママップ
https://yamap.co.jp

国内最大級の登山・アウトドアアプリ「YAMAP (ヤマ
マップ)」。コースや主要ポイントを網羅した大会専用地図が、
YAMAPアプリにて無料でご利用いただけます。ルート確
認や思い出の記録にご活用ください。



バイオライト
https://www.biolitestove.jp/

ガソリンなどの化石燃料を使わなくても、強力で安定した焚
き火ができ、さらに発電も可能という画期的なキャンピング・
ストーブを開発。ソーラーチャージャーやライティンググッズ
など、電気のカでアウトドアをもっと快適にします。



“Think flat. Pack flat.”をブランドコンセプトに軽量・コン
パクトな折りたたみ式食器 (カップ、ディッシュ、ボウル) を開
発しています。



ヘリノックス
https://www.helinox.jp/

優れた強度と柔軟性を持つアルミニウムボールを採用した
超軽量・コンパクトなチェアやテーブル、コットなど、革新的
なアイテムを生み出すアウトドア・ファニチャーのブランド
です。



ガーバー
https://www.gerbergear.com

アメリカ・オレゴン州ポートランド生まれ。フォールディング
ナイフからマルチツールまで幅広い種類のナイフを製造し
ています。



グレイル
https://www.thegrayl.com
アウトドアにおいて安全な水を素早く確保できる浄水ボトル
ブランドです。

